

第4回江南市総合計画審議会 議事要旨

日 時 平成29年3月21日(火) 14:00~16:00

会 場 江南市役所 第2委員会室

出席者 出席委員18名(欠席委員2名)

■委員

《会長》	奥野 信宏	梅村学園・中京大学 理事・学術顧問
《会長代理》	松尾 昌之	市民会議代表《第2分科会・会長》
	木内 清美	愛知江南短期大学こども健康学科長
	佐々木 直	修文大学名誉教授
欠席	高橋 政稔	名城大学理工学部教授
	尾関 昭	市議会議員
	掛布 まち子	市議会議員
	古池 勝英	市議会議員
	安達 秀正	愛知北農業協同組合組合長
欠席	大谷 元	江南金融協会会長
	楓 健年	江南市環境審議会会長
	後藤 雅臣	江南市消防団団長
	梶村 徹師	古知野区区長
	松永 金次郎	江南商工会議所会頭
	陸浦 歳之	江南市社会福祉協議会会長
	加藤 幸治	市民会議代表《第1分科会・会長》
	宮川 秀男	市民会議代表《第1分科会・副会長》
	岩根 佐代子	市民会議代表《第2分科会・副会長》
	柴田 広美	市民会議代表《第3分科会・会長》
	早瀬 裕子	市民会議代表《第3分科会・副会長》

■傍聴者 なし

◆議題

報告

- (1) 第2回江南市総合計画審議会 議事要旨について
- (2) 第2回江南市総合計画審議会 主な委員意見について

議題

- (1) 第6次江南市総合計画基本計画 第4章について(分野Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)
- (2) その他

<配付資料>

- 資料1 第2回江南市総合計画審議会 議事要旨
- 資料2 第2回江南市総合計画審議会 主な委員意見について
- 資料3 第6次江南市総合計画 策定方針(第2回審議会後修正版)
- 資料4 第6次江南市総合計画 基本構想(案)(第2回審議会後修正版)
- 資料5-1 まちづくり会議からの意見について
- 資料5-2 まちづくり会議からの意見対応表
- 資料5-3 第6次江南市総合計画 市民会議開催経過について
- 資料6 第6次江南市総合計画 基本計画(案)【第4章分野別計画】

◆会議結果

1 開会

事務局より挨拶。

2 報告

事務局より報告事項を説明。

3 議題

(1) 第6次江南市総合計画基本計画 第4章について

<分野Ⅰ：まちづくり分野>

(会 長) 議題1の第6次江南市総合計画基本計画 第4章について、分野Ⅰまちづくり分野の説明をお願いします。

(事務局) ~資料6の1ページから18ページについて事務局より説明~

(会 長) ただいまの説明について、何かご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。

(会 長) 市民の憩いの場を作ろうという考えが、計画にあまり書かれていない。公的資産を活用して、中心部で市民への開放などができないか。PREという言葉があるが、最近では公的資産を活用したまちづくりが展開されており、公的資産の中でも特に面積を占める道路について、単に通行するものではなく、市民が集まって癒され楽しむような側面が求められている。そういった点も知っておいていただきたい。

「市民協働のモデル」という項目があるが、18ページ等は以前から行われていることである。ここでは、どのような内容が期待されているのか。NPOや民間が公共の役割を担うことが望ましく、その点でいくとNPOの役割は非常に重要である。今後どのようにまちづくりを運営していくかが課題であり、中間支援組織を運営したり人材育成を行ったりしているが、そのあたりも含めて市民協働の部分が弱いように感じる。

11ページのグラフをみると、下水道普及率が低いように思うが、愛知県下の他市と比較するとどうなっているのか。

(事務局) 下水道普及率については、平成27年度末時点の県平均が76.5%、全国平均が77.8%となっていますが、江南市は取りかかりが遅かったため普及率が低い状況となっています。

(会 長) 全国的にみると1990年頃に整備した下水道が一斉に老朽化を迎えている。また、地方都市では、下水道を整備したが人口減少により使う人がいなくなってしまう、だからと言ってやめるわけにもいかないといった課題を抱えているところもあるが、公的資産を含めてどうしていくかといったところが問題視されている。江南市においては、今から整備を進め、人口も近い将来に大きく減少するわけではないのでその点は問題ないように思うが、下水道の整備は早急に進める必要がある。

(事務局) 今後は、個別目標②に示してあるとおり、平成39年度までに普及率62.4%の達成をめざします。

(委 員) 「柱3 にぎわいあるまちづくりの推進」の「10年後のすがた」に“中心拠点や地域拠点に生活利便施設の集約化が進み、拠点間の交通ネットワークが確保され~”とあるが、個別目標③「市民の足が確保できている」をみると、目標値が大変低く、施策内容もいこまいCARや路線バスへの補助金など、現行の取り組みにしか触れられていない。この施策内容では、拠点間の交通ネットワークには繋がらないのではないのか。計画の中では「コンパクト・プラス・ネットワーク」が掲げられているので、もう少し意欲的な施策を打ち出してほしい。

「柱5 憩いと潤いのある公園緑地推進」の個別目標①「都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、潤いのある生活をしている」の表現について、市街地での機能の集約化などを念頭に置いた表現にしているのだと思うが少し変わった表現だと感じた。また、指標に市民1人当たりの都市公園面積を掲げているが、地域によって差があると、以前からまちづくり会議でも指摘がある。何もしないと中心市街地における面

- 積は増えていかないので、中心市街地での整備促進を明記してほしい。
- (会 長) 市民の足については、10年後には自動運転バスが走るようにしたいと国は言っている。中山間地の交通が課題であるが、GPSの衛星をあと2つ上げれば10mm以内の精度で自動車が制御できるようになるとのことで、公安制度の問題はあるが、ここ10年の間に劇的に変わっていくことが予測される。
- (委 員) 「柱3 にぎわいあるまちづくりの推進」の個別目標②の指標の1つに「江南駅・布袋駅の1日乗降客数」を掲げている。人口ビジョンでは、今後人口が約3,000人減少するとしているが、その中でどうやって乗降客を増やしていくのか。
- (事 務 局) 人口減少については認識していますが、平成32年度末を目途に布袋駅の駅周辺整備を進めており、これによって布袋駅における交通手段などが向上することによって大口町や一宮市千秋地区等まで駅利用圏が広がることを想定した数値になります。
- (委 員) 「柱3 にぎわいあるまちづくりの推進」では、中心拠点や地域拠点間における市民の足の確保が挙げられているが、周辺の集落から拠点に向けたアクセスを確保する必要がある。集落から拠点への公共交通対策が書かれていない。
「柱2 限られた資源の活用」において、新ごみ処理施設などについてしっかり書いてほしい。大きなプロジェクトなので個別計画であらわせないか。
- (会 長) 名古屋は、ごみの最終処分や埋め立てをゼロにすることを目標に取り組みを進めている。
- (委 員) 「57(コウナン)運動」の定義は変わっていないのか。
- (事 務 局) 当初は、焼却場の処分量を1人57g減らすことを目的として平成10年からスタートしました。数値目標が達成された現在も1つのスローガンとして取り組みを継続しています。3ページのグラフにもお示しのとおり、1人1日あたりの家庭系可燃ごみ排出量は愛知県平均よりも江南市は大きく下回っており、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。
- (委 員) 違和感がなければ構わないが、いつまで57gのスローガンで行っていくのかと感じる。
- (委 員) 環境基本計画を検討するなかでも「57(コウナン)運動」の違和感が強い。スローガンということであればよいが、環境基本計画では10年間で減らせるのは2gくらいであり、現実と乖離しているのではないかと懸念しており、ネーミングを変えていくことも考えられるのではないか。
- (事 務 局) いただいたご意見を踏まえて、今後の取り組みを検討していきます。
- (会 長) 沢山のご意見頂きありがとうございます。「分野Ⅰ：まちづくり分野」は以上とさせていただきます、「分野Ⅱ：ひとづくり分野」について事務局から説明をお願いします。

<分野Ⅱ：ひとづくり分野>

- (会 長) 議題1の第6次江南市総合計画基本計画 第4章について、分野Ⅱひとづくり分野の説明をお願いします。
- (事 務 局) ～資料6の19ページから28ページについて事務局より説明～
- (会 長) ただいまの説明について、何かご意見・ご質問がありましたら発言をお願いします。
- (委 員) 全体的に高齢者問題の記述が少ないように思う。平成11年から高齢者向け有料賃貸住宅制度がはじまり、現在市内には220戸あり、いずれも藤ヶ丘地区に立地している。20年経過するとなくなる制度で、最近ではそれに代わるものとして地方有料賃貸住宅、我々は健康サポート住宅と呼んでいるが、これは江南市では未だ0件である。
高齢者への対応はどうするのか。交通手段の問題や、買い物難民の問題にも関連する。また、安心して歩ける歩道も少ない。
また、市内には外国籍の方が1,500人程おり、約半数が藤ヶ丘地区にいるが、なかには、日本の文化に馴染めてない方もいると感じており、ごみの分別が出来ていない人がいるし、防災訓練に参加する方も少ない。市では国際交流協会を中心に取り組んでいるのだと思うが、まだまだ弱いと感じている。そのあたりについても総合計画の中で触れる必要がある。
- (会 長) 数年前から乳幼児対策への関心が高まっているが、計画の中では高齢者対策もしっかりと行っていただきたい。

- (委員) 「柱1 地域が支える子育て支援の推進」のグラフは平成28年までしかないが、平成29年までの推計値もあると良い。
- 「柱4 生きがいをもって暮らせる生涯学習環境の整備」に記載のあるコミュニティ・スポーツ祭は、校区単位で行われているが参加者が減少傾向にある。マンネリ化を防ぐために新しい企画などができるとう良い。
- (会長) 率直な印象として全体的にインパクトがないように感じられる。出生率はどれくらいか。
- (事務局) 1.42です。
- (会長) これからのまちづくりは、子どもが生まれるまちをめざすべきである。出生率が1.42であれば、とるべき対策をとれば1.8から2近くまで上げることは可能である。徹底した子育て支援を行うことで、江南市をそういったまちへと印象づけることができるのではないか。
- (委員) 「柱1 地域が支える子育て支援の推進」に「子ども会活動に関する支援」とあるが、具体的な内容が書かれていない。具体的な方法を明記してほしい。
- (委員) 「柱2 地域に開かれた快適で安全な学校づくりの推進」の個別目標③に給食に関連する記載があるが、江南市は給食センターが古く、アレルギー対応食への対応等が何もできていない。ここに、アレルギー対応食の実施や給食センター早期建替えなどを明記して具体的な計画にしてほしい。
- また、柱2や柱4に関連して、図書館が現状では狭くて使いにくいものとなっており、今後の発展の妨げになっていると感じている。図書館が抱える課題や今後10年の方向性が記載されていないので、行政の取り組みを何かしら書き込んでほしい。
- (会長) アレルギー対応食がないということは、アレルギーを持つ子どもはどうしているのか。
- (事務局) 除去食で対応しないといけないところであるが、現在の給食センターではそのスペースが確保できないため、食べられないものが多い子どもはお弁当で対応している状況です。
- (委員) 給食に関する記載を充実させ、もっときめ細やかな対応が必要である。子育ての全体を通して、市がやらなければならないことのみ書かれている印象である。もっとインパクトのあることが記載できると良い。
- (会長) 給食に関しては、遅れている印象である。給食や図書館への対応を基本計画で記述し、改善策があれば実施計画の中でも明記してほしい。
- (委員) 「柱4 生きがいをもって暮らせる生涯学習環境の整備」について、高齢者の生涯学習におけるICTの充実を積極的に行ってほしい。公民館や学習等供用施設にはインターネット環境がないことが多いので、誰でもパソコンを使える環境を整えてほしい。
- (事務局) 学習等供用施設は、来年度予算でWi-Fi環境整備を行う予定となっています。
- (会長) 駅周辺や市役所はWi-Fi環境の整備が行われているのか。
- (事務局) 市役所の喫茶コーナーは整備されていますが、それ以外は未整備となっています。
- (会長) Wi-Fi環境が当たり前となっている中で、未整備というのは道路がまちないと同じ環境である。Wi-Fi環境が整っていないと観光客も来ないと思うので、何かしら対策を記載できると良い。
- (委員) 分科会において、育児に関する講演会や講座、情報提供が行われているが、主催者側の意見としては、本当に伝えたい方の参加がなかなか増えてこないという声があった。市の広報でPRしても同様であり、ここを何とか解決しなければならない。市としては、参加を募るだけでなく、既存のサークル等に出向いて講座等を行うようなことも必要ではないか。交通手段がない、時間がないということに対して、ICT等を活用することで解決できないかと感じている。
- (委員) 内容については及第点であると感じている。江南市として他の自治体と異なることを行うのであれば、限られた予算の中で、子育てや定住等のどの分野を推進していくのか。また、市民にわかりやすいよう、各分野の柱に「〇〇部〇〇課」といったように担当課を明記してほしい。
- (委員) 江南市で緊急としている課題は何か。事業の優先順位が見えてこないのでは、見える化をしてほしい。

- (委員) 「柱1 地域が支える子育て支援の推進」において、多文化共生社会が市全域にわたっている中、文化的または経済的に保育園に通えない人もいる。入学金を支払えない方等には国の奨学金を紹介しているが、市でも支援を入れてほしい。宗教によって食べられないものがあることなども今後課題になってくると感じている。
- (事務局) 沢山のご意見をいただき、誠にありがとうございました。
委員からご意見のありましたグラフへの今後の推計値の表記につきましては、他の柱も同様ですが、現況値を整理している部分となりますので、現在の整理のままでお願いしたいと思います。
高齢者支援や公共交通については工夫できるよう再度検討します。
事業の優先順位につきましては、実施計画を3年ごとのローリングで展開する中で考えていきます。
図書館や給食センターにつきましては、どこまで具体的に記載できるか検討します。
皆様からいただきましたご意見を踏まえ、各担当と詳細の検討を進めてまいります。
- (会長) 沢山のご意見をいただき、ありがとうございました。本日の議題にありました「分野Ⅲ：しごとづくり分野」については、分野Ⅳ・Ⅴとあわせて第5回の議題とします。

(2) その他

- (事務局) 次回以降の審議会日程についてお知らせいたします。
第5回 4月20日(木) 午後2時(第2委員会室)
第6回 5月23日(火) 午後2時(第2委員会室)
また別途ご案内させていただきます。
本日は長時間に渡りご審議いただき、ありがとうございました。

以上